

## 委員 長 報 告

本委員会は、去る2月28日の本会議において付託を受けた議案2件について、3月3日及び10日に委員会を開催し、当局の説明を聴取し慎重に審査をいたしました。

その結果、委員会審査報告書に記載のとおり、1定議案第1号 平成28年度田辺市一般会計補正予算（第7号）の所管部分及び同議案第8号 平成28年度田辺市四村川財産区特別会計補正予算（第1号）については、いずれも全会一致により、原案のとおり可決いたしました。

審査の過程における委員からの質疑等の主なものは、次のとおりであります。

議案第1号 平成28年度田辺市一般会計補正予算（第7号）の所管部分のうち、一般管理費にかかわって、庁舎整備基金積立金の補正理由をただしたのに対し、「庁舎整備基金は平成24年度から毎年2億円積み立てているが、本年度は決算見込みに基づき、3億円を追加するものである」との答弁がありました。さらに委員から、想定される建設費に対して積立金の充当以外に考えられる国の支援制度等の見込みをただしたのに対し、「現時点で最も有利と考えられる緊急防災・減災事業債は平成32年度までという期限があり、現時点で用地が決まっておらず、実際の建設年度が明確でない中では、建設が想定される期間の最も有利な支援制度を選択するものである」との答弁がありました。

以上、委員長報告といたします。

平成29年3月10日

総務企画委員会

委員長 小 川 浩 樹

# 委員長報告

本委員会は、去る2月28日の本会議において付託を受けた議案4件について、3月2日及び10日に委員会を開催し、当局の説明を聴取し慎重に審査をいたしました。

その結果、委員会審査報告書に記載のとおり、1定議案第1号 平成28年度田辺市一般会計補正予算（第7号）の所管部分、同議案第4号 平成28年度田辺市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）、同議案第7号 平成28年度田辺市木材加工事業特別会計補正予算（第3号）及び同議案第43号 田辺市景観条例の制定について、いずれも全会一致により、原案のとおり可決いたしました。

審査の過程における委員からの質疑等の主なものは、次のとおりであります。

まず、議案第1号 平成28年度田辺市一般会計補正予算（第7号）の所管部分のうち、林業振興費にかかわって、山の暮らし応援事業費補助金の詳細説明と減額理由を求めたのに対し、「特用林産物の生産を含む林業後継者の育成とあわせて、山村地域の担い手の確保及びU I Jターンの推進を図るため、林業新規就業者を受け入れた事業者研修支援補助金を交付する事業である。今年度は、事業者を受け入れた林業新規就業者が当初の予定より少なく、また、事業者において新規就業者を受け入れたものの、本事業の要件を満たさなかった事例があったため減額するものである」との答弁がありました。

次に、議案第43号 田辺市景観条例の制定についてにかかわって、良好な景観にふさわしくない建築物等への対応についてただしたのに対し、「所有者の財産であるので、市が既存の建築物等に対して改善指導等を行うことはできない。今後は、市が景観行政団体となり本市の実情に合った景観計画を策定するとともに、新增改築等を行う際には本条例に基づく届出が必要になる場合があることから、指導が必要なときには景観計画に沿って対応していく」との答弁がありました。

以上、委員長報告といたします。

平成29年3月10日

産業建設委員会

委員長 川崎 五一

## 委員 長 報 告

本委員会は、去る2月28日の本会議において付託を受けた議案5件について、3月2日及び10日に委員会を開催し、当局の説明を聴取し慎重に審査をいたしました。

その結果、委員会審査報告書に記載のとおり、1定議案第1号 平成28年度田辺市一般会計補正予算（第7号）の所管部分、同議案第2号 平成28年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）、同議案第3号 平成28年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第2号）、同議案第5号 平成28年度田辺市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）及び同議案第6号 平成28年度田辺市診療所事業特別会計補正予算（第1号）の以上5件について、いずれも全会一致により、原案のとおり可決いたしました。

審査の過程における委員からの質疑の主なものは、次のとおりであります。

議案第1号 平成28年度田辺市一般会計補正予算（第7号）の所管部分のうち、児童福祉費にかかわって、病児・病後児保育事業の利用状況及び補助金を増額することとなった要因についてただしたのに対し、「利用児童数は、平成25年度が233人、26年度が303人、27年度が526人、本年度は600人を超える見込みで、想定以上の増加に伴い、補助金を増額するものである。また、増加要因としては、事業の知名度が向上したことはもとより、受け入れ態勢の強化や利用料金を下げるといった事業者の努力が考えられる」との答弁がありました。

以上、委員長報告といたします。

平成29年3月10日

文教厚生委員会

委員長 出水豊数